

「生体を診る・解く・支える技術」特集

論文誌 C (電子・情報・システム部門誌) では、平成 31 年 5 月号に「生体を診る・解く・支える技術」特集号を企画します。

細胞レベルから人体に至るまでの構造・機能の微視的・巨視的観察は医療の発達を支えてきました。生体は科学技術の知恵の宝庫であり、この機序を解き明かすことは神経工学から AI に及ぶ学問領域のみならず、様々な産業を支える基盤技術の創出を期待させます。そして医用工学分野における研究成果は、高齢化社会に生ずる様々な問題、即ち医療・介護の質の向上や省力化に大きな成果を生み出しつつあります。

このような状況を背景として、今回「生体を診る・解く・支える技術」特集を企画し、基礎から応用領域までを含む論文を幅広く募集します。下記のキーワードを参考に、奮ってのご投稿お待ちしております。なお、査読関係や投稿件数などの都合で特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、あらかじめご了承ください。

キーワード：生体工学，医用工学，神経工学，感性工学，生体情報，生体モデリング・シミュレーション，診断・治療装置，医用画像，医用情報システム，医療・福祉ロボット，ヒューマン・マシン・インターフェース，ウェアラブルデバイス等

投稿締切：平成 30 年 7 月 23 日 (月)

詳細は、電気学会の論文投稿手続きに従って下さい。「**締切厳守**」でお願い申し上げます。

http://www.iee.jp/?page_id=642 から原稿作成の手引きをダウンロードできます。

投稿方法：投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。

<https://submit.iee.or.jp/main/cgi/sstk-top.cgi> からご投稿下さい。電子投稿・査読システムの「論文・資料・研究開発レターの投稿」画面において「論文誌 C」を選択し、次に原稿種別（論文／資料／研究開発レターのどれか）を選択した後、「原稿投稿」画面において「生体を診る・解く・支える技術」特集を選択して下さい。電子メールを用いた投稿、郵送での投稿は受け付けられませんのでご注意ください。

ゲストエディタ／問合せ先

佐藤 隆幸

首都大学東京大学院理工学研究科

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

E-mail: s-takayuki(アット)tmu.ac.jp ⇒メール送信時、(アット)を@に変換してください。